

平成 28 年 12 月 9 日

各 位

株式会社 関西アーバン銀行

投資信託「フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド」の取り扱い開始について

株式会社関西アーバン銀行（取締役会長兼頭取：橋本 和正）は、平成 28 年 12 月 12 日（月）より、投資信託「フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）」の取り扱いを開始いたしますので、お知らせいたします。

新たに取り扱いを開始するファンドは、海外の高利回り事業債（ハイ・イールド債券）に分散投資を行い、高水準の利息等の収入を確保するとともに、値上がり益の追求を目指す投資信託です。

当行は、今後ともお客さまの多様なニーズにお応えするため、商品ラインアップの充実に努めてまいります。

1. ファンドの特色

- (1) 投資信託証券への投資を通じて、米国・欧州・アジアの 3 つの地域のハイ・イールド債券に分散投資します。
- (2) 組入れを行う投資信託証券において、格付けに関しては、主に Ba 格（ムーディーズ社）以下または BB 格（スタンダード&プアーズ社）以下の格付けの事業債に投資を行います。また、銘柄選別に関しては、アナリストによる独自の企業調査情報を活用し、個別の企業の信用分析と現地のポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視します。
- (3) 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

2. 取り扱い開始日

平成 28 年 12 月 12 日（月）

以 上

このニュースリリースは、投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
ご検討にあたっては、各商品の最新の契約締結前交付書面（「投資信託説明書」（交付目論見書）及び「目論見書補完書面」）を必ずご覧ください。



【商品概要】

フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）

ファンド名称	フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）
運用会社	フィデリティ投信株式会社
商品分類	追加型投信／海外／債券
主要投資対象	米国、欧州、アジアの3つの地域のハイ・イールド債券
ファンドの目的	主として海外の高利回り事業債（ハイ・イールド債券）に分散投資を行い、高水準の利息等の収入を確保するとともに、値上がり益の追求を目指します。
主なリスク	価格変動リスク、信用リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、デリバティブ（派生商品）に関するリスク、エマージング市場に関わるリスク 等
設定日	平成20年12月11日
信託期間	平成41年3月27日まで
決算日	毎月27日
販売単位	1万円以上1円単位
販売価額	申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金支払	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）から0.2%の信託財産留保額を控除した価額
受託会社	野村信託銀行株式会社
お客さまにご負担いただく費用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 投資信託申込時に直接ご負担いただく費用 － お申込手数料：3.24%（消費税等込） ・ 投資信託換金時に直接ご負担いただく費用 － 換金（解約）手数料：なし － 信託財産留保額：0.20% ・ 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用 － 運用管理費用（信託報酬）：純資産総額に対して最大年率 1.47%（消費税等込）程度 － その他の費用・手数料として、以下の費用等がファンドから支払われます。 ・ 売買委託手数料 ・ 信託事務の諸費用 等 <p>これらの費用等は、運用状況等により変動するため、あらかじめその金額等を具体的に記載することはできません。</p> <p>※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。</p>

＜投資信託に関する留意点＞

・ 投資信託等のリスク商品には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。・ 投資信託をご購入の際は、最新の契約締結前交付書面（「投資信託説明書（交付目論見書）」及び「目論見書補完書面」）を必ずご覧ください。これらは当行本支店等にご用意しています。・ 投資信託は預金ではありません。・ 投資信託は預金保険の対象ではありません。・ 預金保険については窓口までお問い合わせください。・ 当行で取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。・ 当行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。

商号：株式会社関西アーバン銀行 登録金融機関 近畿財務局長（登金）第16号
 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

このニュースリリースは、投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ご検討にあたっては、各商品の最新の契約締結前交付書面（「投資信託説明書」（交付目論見書）及び「目論見書補完書面」）を必ずご覧ください。